



かたくり

令和4年2月
64号

「好きっ 通潤パズル」完成!!



11月11日に矢部高校林業科学科作成「好きっ通潤パズル」の体験会と11月24日に完成披露及び記念講演会が行われました。代表生徒による一生懸命さとユーモアが合わさった素敵な発表でした。その後、パズルの監修をされた株式会社Re学 of 川畑智先生より「いきいき長寿の秘訣」という演題で講演が行われました。

講演は聞き手参加型になっており、来場者からは終始、笑い声がこぼれていました。講演の中ではパズル体験コーナーも行われ、来場者と矢部高生にとって良い交流の機会になったのではないのでしょうか。

高齢者に楽しく認知症を予防して健康的に過ごして欲しいと矢部高生が考案・作成した「好きっ通潤パズル」、今後も山都町内に広めていく予定です。

令和4年度より、赤い羽根共同募金の寄付付き商品(1個2,000円・1個につき200円が募金となります)として取り扱います。年間200個限定です。購入(協力)を希望される方は山都町社協HPか山都町社協の各事務所に設置しております申込書にて必要事項を確認し、申込して頂きますよう、よろしくお願いたします。

パズルの使用方法につきましては、下記のQRコードをお持ちのスマホかタブレット端末で読み込んでいただくと、矢部校生が説明をしている動画がご覧になります。

パズルについての問い合わせ

☎:09677-7213211 (担当 芹口)





会長挨拶

梅田 穰



新年あけましておめでとうございます。穏やかな日中の年明けでありました。

昨年、一昨年とコロナウイルス感染症により、祭りや行事等の中止や規模縮小での開催ばかりとなり我々の日常生活がなかなか元に戻りません。そうした中で正月早々より「オミクロン株」によるコロナ感染症が急激な勢いで拡大を続けています。町民のみならず今一度、感染症予防の生活様式を徹底していただきたいと思えます。三回目のワクチン接種については、二月より高齢者の方から順次進めてまいりますので、ぜひ接種を受けていただきたいと思えます。11月24日に矢部高校林業科学科と山都町社会福祉協議会が連携して作成を行った、認知症予防に効果がある手作りの「好きっ 通潤パズル」の披露と福祉事業所への寄贈式がありました。地元の高齢生が高齢化の進む山都町で元気に生き生きと暮らせる町づくりに協力していただいていることに深く感謝を受けたいと思います。

12月22日は蘇陽地区老人会による「愛の一円玉募金」の寄贈が行われました。

善意ある会員のお一人お一人の心のこもった総額240,855円の心遣いを大切に使わせていただきたいと思えます。安永支部長のお話の中で、老人会ばかりではなく広く町民の方々にも広げて欲しいとのことでした。町内の多くの団体の方々にもお知らせを取り組んでいきたいと思えます。

矢部高校家庭クラブ 活動発表

11月5日にやまと文化の森で矢部高校 家庭クラブによる活動発表が行われました。

発表内容は昨年度から行っている「世代間・移住者交流料理教室」、「夏休み 学童弁当配布」などの活動内容をまとめたものになっています。

緊張と一生懸命さが伝わる発表の終了後には会場は温かい拍手で包まれました。

発表後は家庭クラブが調理された焼き米のキッシュとそのレシピが生徒より来場者に配布され、終始、和やかな雰囲気では終了しました。

今回の発表は生徒の皆さんにとって貴重な経験になったのではないのでしょうか。

その後、11月11日に行われた「第68回熊本県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会」では出場した県内11校の中でみごとに最優秀賞（1位）を受賞されました。





第1回赤い羽根共同募金チャリティー グラウンドゴルフ大会 開催



11月9日に第1回赤い羽根チャリティーグラウンドゴルフ大会を実施しました。
あいにくの雨と寒さの中での開催となった大会ですが、そんなことを吹き飛ばすような参加者の元気な声と生き生きとしたプレイに会場は賑わいました。
全2ラウンド終了後、表彰式を行い、雨にも負けない元気な皆様の協力のおかげで大会は無事に終了しました。
参加費の一部を赤い羽根共同募金として大切に活用させていただきます。
今後も山都町社会福祉協議会では様々なイベントを計画していく予定です。



ボランティアポイントカード交換交流会を開催しました。



11月26日、29日、30日の3日間、ボランティアポイントカード交換交流会を行いました。コロナ禍においてもできる学校と地域のボランティアをつなぐ活動として、児童がボランティア活動を行った時にポイントがもらえ、10個たまると町内のボランティア団体が手作りされた作品と交換できる内容です。町内の小学校3校（蘇陽南小・潤徳小・清和小）と4つの団体・個人の方（すみれ会・さつき会・生き生き学級・田中久様）にご参加頂きました。

交流会では、ボランティア活動についての紹介後、児童からの質問や感想を話して頂きました。児童からは「このようなボランティア活動がされていることを初めて知りました。」「これからも自分から進んでボランティア活動をしていきます。」など心強い感想を頂きました。作品を作られたボランティア団体の方からは、「学生の皆さんと触れ合うことで元気をもらいました。」「リモートは初めて体験した。とてもいい体験になった。」と笑顔で話していました。

コロナ禍で行えなくなったことも多いですが、コロナ禍でもできる形で、“つながる”ことの楽しさと大切さを改めて感じた交流会でした。

蘇陽南小学校



潤徳小学校



清和小学校



すみれ会



生き生き学級



さつき会

”災害ボランティアセンターの
心強いサポーター!!“

12月12日、災害ボランティアセンターサポーター養成講座を開催しました。
熊本県社協ボランティアセンターの桂氏より「災害ボランティアセンターの機能と役割」、八代市社協の村上氏より「コロナ禍での災害ボランティアセンター運営」について講演いただきました。

コロナ禍での「新しい生活様式」を取り入れた災害ボランティアセンターの運営や、自分の地域が被災した際に「地元住民の力」の必要性について説得力のあるお話をいただきました。

受講者からは、「ボランティアの必要性が分かった」「地域で出来ること、自分出来ることを考えるきっかけになった」等の感想がありました。受講された心強いサポーターの皆さんの今後の活躍に期待しています。



掲 示 板

愛の1円玉募金



12月22日、蘇陽事務所にて愛の1円玉募金贈呈式が行われました。山都町老人クラブ連合会蘇陽支部の安永支部長より240,855円が目録が手渡されました。昨年に引き続き、コロナ禍で活動の難しい中、募金活動をしていただき、誠にありがとうございました。

赤い羽根共同募金

令和3年度実績

募金の種類	件数	金額
戸別	4,286	1,892,400
法人	11	93,000
学校	4	4,588
職域	13	147,700
イベント	1	19,502
個人	1	170
その他	10	20,958
合計	4,326	2,178,318

【令和3年12月末現在】

10月1日～12月31日まで山都町共同募金委員会では、戸別・職域・法人・学校・募金箱等にて募金をお願い致しました。住民の皆様のおかげで心からお礼を申し上げます。実績については次号にてお知らせいたします。

令和3年度 社協一般会費納入状況報告

本年度も町民の皆様には1戸千円の社協会費をお願いいたしました。

納入頂いた会費は「住民主体」の原則のもと、社協が実施する地域福祉諸活動に役立てていきます。ご協力ありがとうございました。

【令和3年12月末現在】 4,507戸 4,495,500円

寄附いただきました



馬見原在住の西田江津子様より、手作りの“毛糸のモチーフ”を寄附いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

法律相談日のご案内

3月・4月・5月の法律相談日は下記のとおりになります。ご確認の上、お越しください。

山都町社会福祉協議会

令和3・4年度法律相談所開設日

法律相談	原則毎月第3木曜日	弁護士による無料相談を実施
時 間	午前10時～午後3時まで（祝日及び年末年始は除く）	
※福祉相談につきましては、平日（祝日は除く）の午前10時から午後3時まで社協各事務所にて常時開設し、職員が対応いたします。		
※都合により開催日・開催場所が、変更になる場合がありますので、防災無線及び社協各事務所にて確認のうえ相談においで下さい。		
3	17	木 蘇陽 蘇陽支所
4	21	木 矢部 矢部保健福祉センター千寿苑
5	19	木 清和 支援ハウス清楽苑

平素より社協広報誌がたくりをご愛読くださりまして誠にありがとうございます。かたくり 第63号に掲載させて頂いた、「各地区の紹介 清和地区」の見出しに誤りがございましたので、下記の通り訂正させていただきます。ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

（正）「堂守をされる飯星さんご夫婦」 （誤）「党守をされる飯星さんご夫婦」

※この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金および社協会費、寄付金の一部で作成しています。